令和8年度　　主催　宗像区中学校体育連盟
宗像区中学校　　宗像市・福津市教育委員会

新人柔道大会要項

1. 大会名　第43回 宗像区中学校新人柔道大会　第33回宗像区中学校新人女子柔道大会

2. 期 日　令和8年10月3日(土) 予備日 令和8年10月10日(土)
○ 集合 8:00(役員集合 7:50) 計量 8:15(安全マナーチェックも行う) 審判・監督会議・・・・8:50
開始式 9:00 試合開始 9:15

3. 会 場　宗像市立城山中学校 (宗像市陵厳寺1−13−1)

4. 参加制限　○団体戦(1)男子チームは監督(校長・教員・チームスタッフ)1名, コーチ1名, 選手7名以内。
(2)女子チームは監督(校長・教員・チームスタッフ)1名, コーチ1名, 選手4名以内。
監督・コーチは各チームよりそれぞれ1名とする。

5. 競技方法
<団体戦>
(1)リーグ戦を行う。
(2)チーム間の勝敗は次のとおりとする。
①勝者数の多いチームを勝ちとする。
②①で同等の場合は, 一本もしくは, それと同等の勝ちによる勝者の多いチームを勝ちとする。
③②で同等の場合は, 「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
④③で同等の場合は, 「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑤④で同等の場合は, 「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑥⑤で同等の場合, リーグ戦では「引分け」とする。トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。
なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
(3)リーグ戦の順位は次のとおりとする。
①3勝, 2勝1分, 2勝1敗, 1勝2分, 1勝1敗1分, 1勝2敗, 3分, 2分1敗, 1分2敗, 3敗の順とする。
②①で同等の場合は, リーグ戦を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
③②で同等の場合は, リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを勝ちとする。
④③で同等の場合は, リーグ戦を通じて「技あり」による勝者数の多いチームを上位とする。
⑤④で同等の場合は, リーグ戦を通じて「有効」による勝者数の多いチームを上位とする。
⑥⑤で同等の場合は, リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多いチームを上位とする。
⑦⑥で同等の場合は, リーグ戦を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
⑧⑦で同等の場合は, リーグ戦を通じてリーグ戦を通じて「一本」もしくは, それと同等の勝ちによる敗者数の少ないチームを上位とする。
⑨⑧で同等の場合は, リーグ戦を通じて「技あり」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑩⑨で同等の場合は, リーグ戦を通じて「有効」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑪⑩で同等の場合は, リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の少ないチームを上位とする。
⑫⑪で同等の場合は, 代表戦を行う。得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
なお, 代表戦に出場する選手は, チームの任意により1名を選出する。

6. 競技規則

(1)中学校における引率・監督は,出場校の校長・職員・部活動指導員とする。コーチについては出場校の教育職員（部活動指導員を含む）とする。但し,教育職員（部活動指導員を含む）以外のコーチは校長が認め,福岡県中体連に登録し承認を受けたものとする。地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）における引率・監督・コーチは,県中体連に登録し,承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。

(2)国際柔道連盟試合審判規定（2025年4月施行）「少年大会試合審判規定」及び本大会申し合わせ事項による。

(3)勝敗の判定の基準は，団体戦においては「一本」「技有」「有効」または「僅差（指導の差2以上）」以上とする。個人戦においても，「一本」または「技有」「有効」または「僅差」以上とする。

(4)代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが，3分間の本戦で得点差がない場合は，延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗は技による得点がない場合「指導」差が上回った時点で決する。

(5)優勢の成り立ちは次の通りとする。「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

(6)試合時間は，正規3分間とし，延長戦は無制限とする。

(7)競技規則に，問題が起こったときは，専門委員会で協議する。

(8)チーム編成（オーダー）は体重順とし，一番軽い者が先鋒，一番重い者が大将とする。なお，補欠の選手を入れる場合も，体重順になるように入れる。（同体重の時は，新たに入る選手が先鋒に近い方とする）

①試合は，選手男子5名，女子3名の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。

②一度退いた選手は，再出場を認めない。

③申し込みの選手が事故のため変更するときは，大会開始前において，代表者印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。

④欠員が生じた場合は，大将側から並べ直し，先鋒側から空きとする。

(9)柔道衣の色は白色とし，帯は白帯と黒帯のみとする。また、柔道衣・女子Tシャツについては全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。胸マーキング等について道場名も可とするが，ゼッケンと統一しておかなければならない（最大4×5cm，1カ所のみ）

(10)柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。（チーム名・名字入り）

①布地は白色とし，サイズは横30～35cm，縦25～30cmとする。

②名字（姓）は上側2/3，学校名は下側1/3とする。

③書体は太字ゴシック体とする（明朝体または楷書でもよい）。

④文字色は，男子黒色，女子濃い赤色とする。

⑤襟から5～10cm下部の位置で，周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

7. 申し合わせ事項

(1)計量時に安全マナーチェックを専門部で行う。

(2)AEDの設置場所については監督者会議で確認する。

(3)Jアラート等警報時は、即座に競技進行を中断し、避難体制をとる。大会が中断した場合、行政の指示に従い、実行委員会で安全を確認の上で再開する。

(4)本大会の会場において事故が発生した場合、医療関係者が応急処置を行ったり医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行ったりするが，これらの処置，判断等について故意または重過失がない限り，医療関係者は責任を負わないこととする。

(5)試合終了後すぐに監督会議を開き，筑前地区大会の申し込み手続きを行う。

(6)コーチのベンチ入りは男女を問わず1チーム1名とし，ベンチ入り希望者は，大会出場申込書に氏名を明記し，申請を行う。当日のベンチ入りは大会出場申込記載の本人に限る。

(7)服装は，審判員に準じた服装とし，マナーを守って指導にあたる。

(8)試合順は，女子団体戦⇒男子団体戦の順で試合を行う。

(9)その他，大会本部により申し合わせた事項を，監督会議の折に各学校の監督に連絡する。

9. 参加資格　　宗像区大会参加資格「特別規定」による。
令和8年4月から継続して柔道の稽古を積んだものとする。

10. 表　彰　　男女とも団体戦の1～3位まで賞状を授与する。
団体上位3チームは11月14日(土)の筑前地区大会に出場する義務を負う。
女子は，オープン参加。

11. 専門部　　専門部長　　木村　騰哉（宗像アカデミー）
宗像アカデミー　花田　英雄　　西宮　裕二
城山　　村上　浩翔　　江口　美紀
津屋崎　　山下　進也　　石井　理恵
福武館　　松崎　建司　　後小路　裕朗
粕屋柔道学舎　　濱脇　政夫

12. 組み合わせ　10月2日(金)　前日準備の際，監督会議で組み合わせと試合順を決定する。

13. 申し込み　　規定の申込用紙に書き込み，令和8年9月28日(月)までに郵送かFAXで申し込むこと。
FAX申し込みの場合は，当日，審判監督会議までに原本と差し替える。
あて先　〒811-4145　宗像市陵厳寺1－13－1　　宗像市立城山中学校　　木村　騰哉 宛
FAX(0940)33－8649